



Theme Competition

第5回('07-'08)

主張する「みせ」
学生デザインコンテスト

主張する「みせ」学生デザインコンテストとは

INTENT

若者が街を歩き、若者が空気を動かす。

'60年代までの工業社会の街と店から'70年代の情報社会の街と店は、本質的な面からその機能を変えた。情報社会の目的は、より豊かな人と人とのコミュニケーションであったが、それが途中で目標がずれ物質的な世界にのめり込んでいった。キーボードとマウス、携帯電話による情報ネットワークによって、人の心が見えなくなっただけで、改めて、『みせ』を問いただしてみたい。

若者達、学生という視点からの、大きな夢と主張を私達は大切にしたいと思う。

若者の商業施設に対する関心をより高めるとともに、新鮮で豊かな感性みなぎる提案を期待したく、このコンテストを実施するものである。

第5回 主張する「みせ」学生デザインコンテスト

賞 ⚡
 最優秀賞 1点 20万円、賞状
 優秀賞 5点 5万円、賞状
 入賞 数点 賞状
 特別賞 数点 賞状(協賛企業各社の冠賞)
 その他の各賞 数点
 (但し審査の結果、該当作品がない場合は、これによりません。)

参加費 ⚡ 無料

審査委員 ⚡
 ○豊口 協(長岡造形大学理事長) ○柘植喜治(千葉大学大学院教授)
 ○福島勇人(乃村工芸社クリエイティブディレクター) ○野村武彦(商業施設技術者・団体連合会会長)

実行委員 ⚡
 ○斉藤武行(竹中工務店) ○松本弘志(コウデザインスタジオ代表取締役)
 ○石渡強治(トランスレイト代表取締役) ○立原俊郎(トークン意匠工房代表)
 ○小田秀樹(グローバルウィング代表取締役) ○鈴木睦子(アトリエムーガ代表)

応募資格 ⚡ 学生(大学院生、大学生、短大生、専門学校生) 個人・共同制作、いずれも可

受付期間 ⚡
 平成19年12月3日(月)受付開始
 平成20年1月31日(木)必着締め切り

応募作品の形式 ⚡
 『A1サイズスチレンボード』に、あなたが思う“主張する「みせ」”を自由に表現し、主旨(コンセプト)を添えて応募して下さい。
 ・作品形態・・・A1(594×840mm)サイズスチレンボード、1枚にまとめる。(平面図、パース(CG)など自由にレイアウトして下さい。)
 ・主旨(コンセプト)書・・・400字程度の主旨をA4サイズ用紙にまとめ、添付

応募方法 ⚡
 作品受付期間中に、作品を下記の要領でお送りください。
 ・A1サイズスチレンボードの裏面に、出品票を貼り付け、応募用紙、主旨書を同封の上、お送りください。
 送付方法は、郵送、宅配便いずれでも構いません。(※破損等には充分気をつけてください。)

作品の返却 ⚡
 応募作品は審査後、着払いにて返却いたします。
 なお、入賞作品については展示会後の返却となります。

審査結果 ⚡
 平成20年2月29日頃
 応募者(代表者)宛に文書にて受賞者のみに通知
 併せて、本会ホームページ上、業界媒体誌にて発表予定

著作権など ⚡
 受賞作品に関しての著作権は受賞者に帰属し、本会は本会発行の書籍・書類等についての著作権を有するものとします。

第5回 主張する「mise」学生デザインコンテスト 入賞者

最優秀賞 (1作品)

藤井麻里江 (千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻)

優秀賞 (5作品)

高林 健太 (千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻)

樽井 啓子 (京都女子大学家政学部生活造形学科)

段村 亮恵 (日本文理大学工学部建築デザイン学科)

山本伊織【共同制作:今井慎二】(立命館大学大学院理工学研究科環境都市)

湯山 博子 (千葉大学大学院工学研究科デザイン科学専攻)

入賞 (11作品)

青木潤之助 (千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻)

大森 裕立 (名古屋モード学園インテリア学科)

境野奈津子 (千葉大学大学院自然科学研究科建築専攻)

笹木大輔【共同制作:狩野 元、大野達也、大畑貴裕】(中部大学工学部建築学科)

鈴木 浩文 (千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻)

砂原友里枝 (帝塚山大学現代生活学部居住空間デザイン学科)

田中 麻耶 (東京デザイナー学院インテリアデザイン科)

仲野 俊生 (日本工学院八王子専門学校建築デザイン研究科)

東泉 哲寛 (東京デザイナー学院1部インテリア科)

本間 由未 (東北工業大学工学部デザイン工学科)

若林 大輔 (東京モード学園インテリア学科ショッピングデザイン専攻)

特別賞 (7作品/協賛企業賞)

◆社団法人北海道商業施設技術者協会賞

早川 未紗 (北海道芸術デザイン専門学校環境デザイン学科)

◆株式会社乃村工藝社賞

渡辺 健人 (東京工科専門学校インテリア科)

◆スガツネ工業株式会社賞

足達 広恵 (九州産業大学芸術学部デザイン学科)

◆日軽アーバンビルド株式会社賞

大熊 英稔 (東京モード学園インテリア学科インテリアデザイナー専攻)

◆株式会社資生堂賞

岩崎麻理恵【共同制作:佐合優季、田中あやの、長井美帆】
(日本デザイナー芸術学院生活環境デザイン学科)

◆昭和フロント株式会社賞

喜田 洋行 (トライデントデザイン専門学校建築インテリア学科)

◆株式会社クネット・ジャパン賞

丸山 明代 (東北工業大学工学部デザイン工学科)

表彰式

日程 ● 平成20年3月18日(火)

場所 ● 建築会館ホール

受賞作品展示 ● 建築会館ギャラリー(3月18日~24日)

本審査風景



特別賞 (10作品/部門賞) 特色ある観点や部門について表彰

◆社会基盤投資部門 社会基盤である投資の観点を持った作品

城戸健一朗 (千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻)

◆地域通貨部門 商店街限定の通貨をつくり、みせづくりに反映した作品

桐原 徹 (日本工学院専門学校建築設計科)

◆設計部門 店づくりにおける設計を上手く表現した作品

久米 伸大【共同制作:中沢雄大】(秋田建築専門学校建築設計科)

◆空間への挑戦部門 空間に対する可能性を感じさせる作品

鈴田 晴美 (あいち建築デザイン専門学校建築工学科)

◆創造提案部門 発想の転換で創造豊かに提案した作品

須藤 啓介 (東京モード学園インテリア学科インテリアデザイナー専攻)

◆物流部門 商品の物流に関する新しい形を表現した作品

洲浜 佳司 (六吹デザイン専門学校建築デザイン学科)

◆環境保全部門 物の大切さを環境保全の観点から表現した作品

鶴見 和代 (東京デザイナー学院インテリアデザイン学科ショッピングデザイン専攻)

◆リラクゼーション部門 一人の時間を提供する店づくりを表現した作品

鳴海 諒子 (北海道芸術デザイン専門学校環境デザイン学科)

◆地域振興部門 街の中ですべて行うことができる新しい形を提案した作品

平松 直樹 (中央工学校OSAKAインテリアデザイン学科)

◆企画部門 消費者に商品の創作過程を見せることにより付加価値を高めることを提案した作品

廣川 祐子 (千葉大学大学院自然科学研究科建築専攻)

受賞作品紹介

Prize Winning Design

最優秀賞

無人駅テーマパーク

近年、無人駅が増えている。自家用車の普及と、少子化による通学利用客の減少で、ローカル線が廃業し、駅が無人化が進んでいる。そして駅に遊び場が少なくない。駅が場所をつくる駅は、その新しい可能性があるのにこれまで鉄道会社が動いていないから、活用できていない。そこで、無人駅を他の業種に開放する。

無人駅 → テナント → テーマパーク
電車 → 通路



駅はテナント

小売店の駅は、日本郵船、7-Elevenの駅は、ユニクロ。
駅がそれぞれテーマを持ち、オフィシャルスポンサーがつく。駅ごとに違った特徴があるから、乗客はそれぞれの駅で、買い物できる。飲食店もあり、楽しめる。

さらに企業は、テナントとして「無人駅」を駅に、利用者にブランドアピールできる。新しいプロモーションの手段になる。

切符はテーマパークのフリーパス

もしも鉄道会社がバックアップ、買い物や飲食した人は、切符が無料。電車の駅でテーマパークを利用できるから、移動のついでに乗り降りし、自由に遊べる。

乗客は、もともとが乗ってなくても乗客がかかる。でも、切符が無料になれば乗客が増えて、「テナント」からテナント料が入る。

観光客だけじゃなく——会社帰りに「駅」に立ち寄って一杯。働く主婦が帰りに「採れたて野菜」を「駅」で買う。学校の帰りに、友達と「駅」に寄り道。そんな風景があったら、みんな幸せ、みんな楽しい。



[無人駅テーマパーク]

藤井麻里江
千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻

Concept

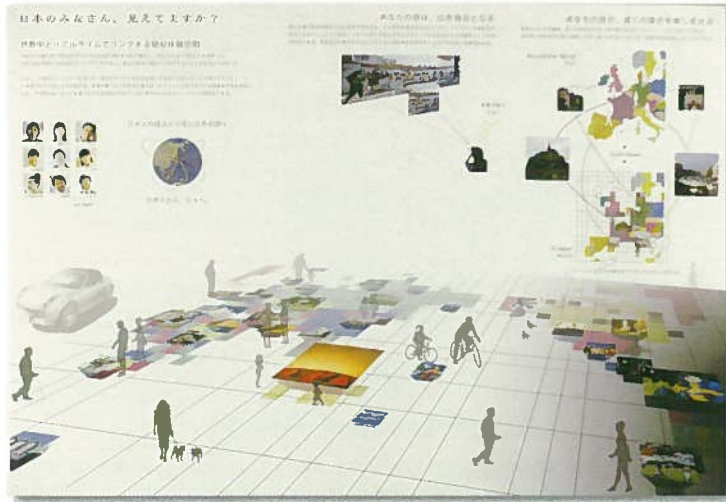
近年、駅員のいない無人駅が増えている。原因は、自家用車の普及と、少子化による通学利用客の減少による、鉄道会社の経営不振。駅は本来、人が集まり、離れた地点を結び、とても利用価値の高いものはず。しかしこれを、鉄道会社が抱えているから、活用できてないだけである。

そこで、駅を他の業種に開放する。無人駅を「テナント」、電車を「通路」と位置づけ、無人駅を結んだエリアを一大テーマパークとして展開する。
お菓子の駅は、明治製菓。Tシャツの駅は、ユニクロ。など、駅がそれぞれテーマを持ち、オフィシャルスポンサーがつく。駅ごとに違った特徴があるから、乗客はそれぞれの駅で、楽しめる。さらに企業にとっては、テナントとして「無人駅」を媒体に、利用者にブランドアピールできる、新しい手段になる。乗客は、電車の切符でテーマパークを利用できるから、移動のついでに乗り降りし、自由に遊べる。人が集まって「テナント駅」から鉄道にテナント料が入ったら、鉄道が元気になる。そうやって、鉄道全体で魅力を出していく。

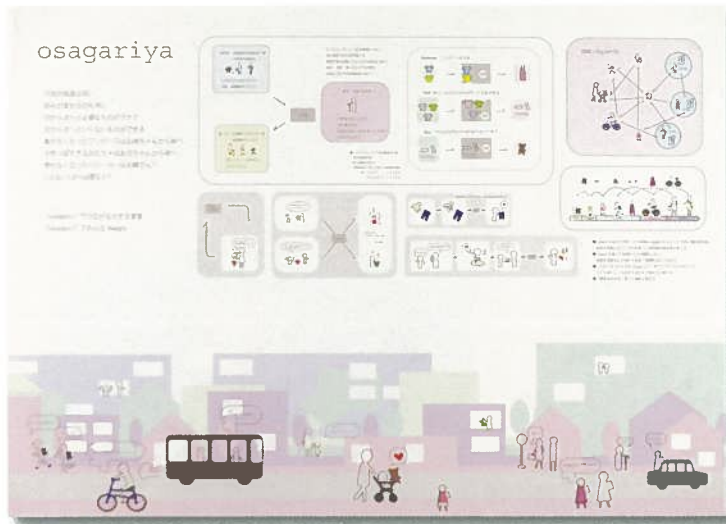
観光客だけじゃなく——
会社帰りに「駅」に立ち寄って一杯。
働く主婦が帰りに「採れたて野菜」を「駅」で買う。
学校の帰りに、友達と「駅」に寄り道。

そんなテーマパークな電車がいたら、
みんな幸せ。みんな楽しい。

優 秀 賞



[日本のみなさん、見えていますか?]
高林健太
千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻



[osagariya]
樽井啓子
京都女子大学家政学部生活造形学科



[鉄道(ぽっぽ)商店街]
山本伊織【共同制作:今井慎二】
立命館大学大学院工学研究科環境都市

優 秀 賞



【りんごがなくなったら閉店】

段村亮恵
 日本文理大学工学部建築デザイン学科



【移動商店街】

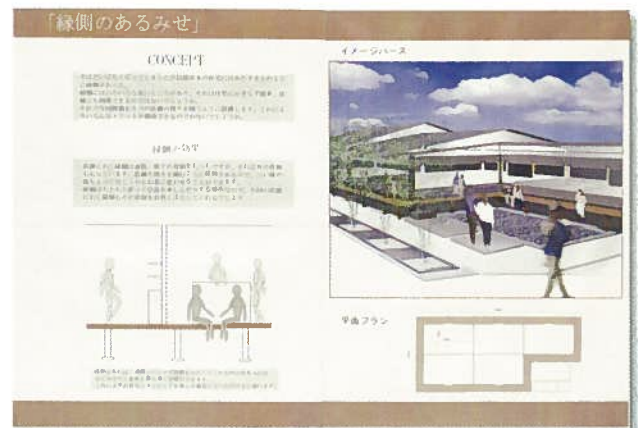
湯山博子
 千葉大学大学院工学研究科デザイン科学専攻

入 賞



【man is the SHOP】

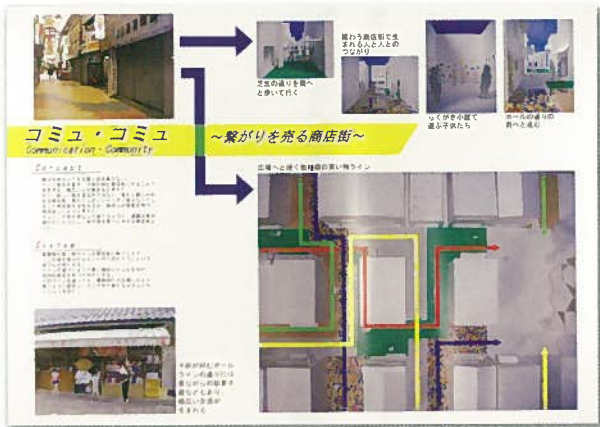
青木潤之助
 千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻



【縁側のあるみせ】

大森裕立
 名古屋モード学園インテリア学科

入賞



[コミュ・コミュ ~繋がり売る商店街~]

笹木大輔【共同制作: 狩野 元、大野達也、大畑貴裕】
中部大学工学部建築学科



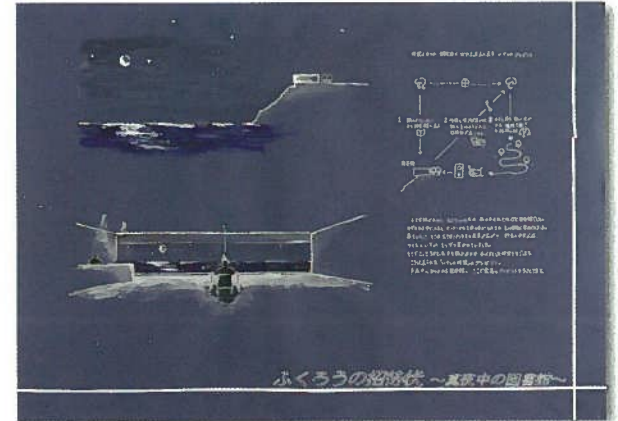
[現代的ノアの箱船]

鈴木浩文
千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻



[JUNCTION univ.]

境野奈津子
千葉大学大学院自然科学研究科建築専攻



[ふくろうの招待状 ~真夜中の図書館~]

砂原友里枝
帝塚山大学現代生活学部居住空間デザイン学科



[Communication manner 117]

田中麻耶
東京デザイナー学院インテリアデザイン科



[日本人よ、米を作ろう、餅を食べよう。]

仲野俊生
日本工学院八王子専門学校建築デザイン研究科

入賞



[飼い主教習所 ～ペットを飼う前に知ってもらいたいコト～]

東京哲寛
東京デザイナー学院 | 部インテリア科



[ゴミから護美へ～新しいエコショップの形～]

本間由未
東北工業大学工学部デザイン工学科



[恥を主張する店 ～HIVを謳う～]

若林大輔
東京モード学園インテリア学科ショップデザイン専攻

特別賞・協賛企業賞

◆株式会社乃村工藝社賞



[Fitting Space]

渡辺健人
東京工科大学インテリア科

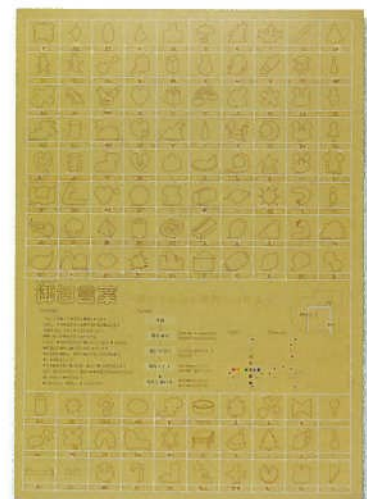
◆日経アーバンビルド株式会社賞



[育てる店 ～栽培日記～]

大熊英稔
東京モード学園インテリア学科インテリアデザイナー専攻

◆株式会社資生堂賞



[御言葉 ～箱から伝わる言葉のいろは～]

岩崎麻理恵【共同制作：佐合優季、田中あやの、長井美帆】
日本デザイナー芸術学院生活環境デザイン学科

特別賞・協賛企業賞

◆社団法人北海道商業施設技術者協会賞



[思い直しの店 ~買う一歩手前で考えよう~]

早川未紗

北海道芸術デザイン専門学校環境デザイン学科

◆スガツネ工業株式会社賞

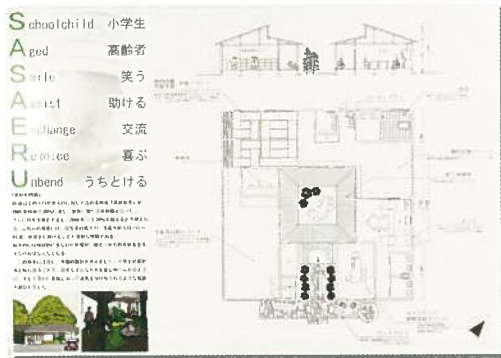


[傘がみせ]

足達広恵

九州産業大学芸術学部デザイン学科

◆株式会社クネット・ジャパン賞



[SASAERU]

丸山明代

東北工業大学工学部デザイン工学科

◆昭和フロント株式会社賞



[モノを預けヘヤを提供する]

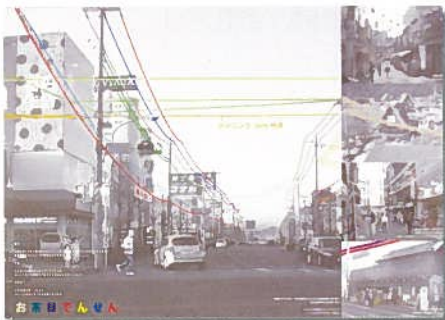
喜田洋行

トライデントデザイン専門学校建築インテリア学科

特別賞・部門賞

◆社会基盤投資 部門

社会基盤である投資の観点をもった作品



[お茶目でんせん]

城戸健一郎

千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻

◆地域通貨 部門

商店街限定の通貨をつくり、みせづくりに反映した作品



[弘明寺商店街ハンモックパーク]

桐原 徹

日本工学院専門学校建築設計科

◆物流 部門

商品の物流に関する新しい形を表現した作品



[touch]

洲浜佳司

穴吹デザイン専門学校建築デザイン学科

特別賞・部門賞

◆設計 部門

店づくりにおける設計を上手く表現した作品



[自然環境を謳う店]

久米伸大【共同制作:中沢雄大】
 秋田建築専門学校建築設計科

◆空間への挑戦 部門

空間に対する可能性を感じさせる作品



[200ミリの高低差がつくりだす空間]

鈴木晴美
 あいち建築デザイン専門学校建築工学科

◆企画 部門

消費者に商品の創作過程を見せることにより付加価値を高めることを提案した作品



[ものづくりの匠
 ~箱から伝わる言葉のいろは~]

廣川祐子
 千葉大学大学院自然科学研究科建築専攻

◆創造提案 部門

発想の転換で創造豊かに提案した作品



[主張する『みせ』]

須藤啓介
 東京モード学園インテリア学科インテリアデザイナー専攻

◆環境保全 部門

物の大切さを環境保全の観点から表現した作品



[大切な物]

鶴見和代
 東京デザイナー学院インテリアデザイン学科ショップデザイン専攻

◆リラクゼーション 部門

一人の時間を提供する店づくりを表現した作品



[ひとりの時間を売る店]

鳴海涼子
 北海道芸術デザイン専門学校環境デザイン学科

◆地域振興 部門

街の中ですべて行うことができる新しい形を提案した作品



[いかにせる街、いきる自分。]

平松直樹
 中央工学校OSAKAインテリアデザイン学科

Competiton **参加学校** (順不同) Participating School

北海道東海大学	中央工学校	立命館大学
青山工学医療専門学校	東京デザイン専門学校	京都工芸繊維大学
北海道芸術デザイン専門学校	日本工学院八王子専門学校	京都女子大学
東北芸術工科大学	職業能力開発総合大学校東京校	摂南大学
宮城大学	女子美術大学	大阪工業大学
東北工業大学	長岡造形大学	大阪人間科学大学
仙台デザイン専門学校	専門学校ルネサンスアカデミー	中央工学校OSAKA
秋田建築専門学校	名古屋女子大学	宝塚造形芸術大学
千葉大学	檀山女学園大学	帝塚山大学
千葉大学大学院	檀山女学園大学大学院	島根県立島根女子短期大学
多摩美術大学	名古屋市立大学	広島国際大学
駒沢女子大学	中部大学	穴吹デザイン専門学校
東京デザイナー学院	名古屋モード学園	九州産業大学
東京モード学園	トライデントデザイン専門学校	九州デザイナー学院
日本工学院専門学校	日本デザイナー芸術学院	日本文理大学
東京工科専門学校	あいち建築デザイン専門学校	専修学校インターナショナルデザイン

第5回 主張する「みせ」学生デザインコンテスト

主催： 社団法人商業施設技術者・団体連合会

協賛： 株式会社総合プランニングセンター

後援： 全国商環境設計装備協同組合

株式会社乃村工藝社

協同組合日本店装チェーン

スガツネ工業株式会社

社団法人日本ディスプレイ業団体連合会

日軽アーバンビルド株式会社

日本マネキンディスプレイ商工組合

株式会社資生堂

社団法人日本商環境設計家協会

昭和フロント株式会社

社団法人日本ディスプレイデザイン協会

株式会社クネット・ジャパン

社団法人北海道商業施設技術協会

株式会社商店建築社

有限責任中間法人日本インテリアプランナー協会

社団法人商業施設技術者・団体連合会

〒108-0014 東京都港区芝5丁目26番20号 建築会館

TEL:03-3453-8103 FAX:03-3453-8109

URL : <http://www.jtocs.or.jp> E-mail : info@jtocs.or.jp



社団法人商業施設技術者 団体連合会